

登録コード	HM119900	開講年度	2026				
授業題目	泌尿器科学論文演習					担当教員	秋山 佳之 他
英文授業名	Thesis Seminar in Urology					副担当	皆川 倫範・齊藤 徹一
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	大学院 2年次
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【専攻】医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力					論文検索など情報を的確に収集する能力と、情報を十分に理解し第三者にoutputできる能力を獲得する	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加						
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力					自然科学・臨床医学における疑問に対して、的確に収集した情報を正しく理解して解決に結びつけることができるようになること	
(2)詳細 /Detailed information	医学データベースを用いて優れた泌尿器科に関する医学論文を検索する能力を習得する。 泌尿器科、特に下部尿路再生・神経泌尿器科学を中心とした学術論文を探索し、精読した上で、その内容を第3者にプレゼンテーションする能力を身につける。 抄読会形式で、医学論文を批判的に読む能力、その内容を要約してわかりやすくプレゼンテーションできる能力を習得する。						
(3)授業の概要 /Overview of course	医学データベースを用いて優れた泌尿器科に関する医学論文を検索する方法について指導する。 毎回、泌尿器科、特に下部尿路再生・神経泌尿器科学を中心とした学術論文を探索し、精読した上で、その内容を第3者にプレゼンテーションする。抄読会形式で行い、その後、質疑応答を行う。						
(4)授業計画 /Course plan	抄読会形式で行う。 泌尿器科、特に下部尿路再生・神経泌尿器科学を中心とした課題に関する優れた医学論文探索し、批判的に読み、その内容を抄読会形式で、わかりやすく第3者にプレゼンテーションする。抄読会形式で行い、その後、質疑応答を行う。						
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	成績の評価の方法は、毎回のプレゼンテーション内容、および、その結果をまとめたレポートによって行う。 成績評価の基準は、(i) 課題に関する問題解決論文の設定が適切であり, (ii) その問題の背景を説明できており, (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており, (iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており, (v) その上で自分の見解を提示できており, かつ, 教員を感心させるレベルにあれば「卓越している(秀)」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある(優)」。4項目までできていれば「やや上にある(良)」。3項目までできていれば「水準にある(可)」とする。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	毎回、大まかなリーディング課題を課すが、詳細な課題(精査論文)設定は自分で行う。授業開始直後に、大まかな課題に対する理解を問う小テストを行うので、それに備えて課題を理解した上で授業に臨むこと。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	適宜、質問、相談へは対応する。						
(8)授業の形式 /Course format	抄読会形式であるが、精読した論文をプレゼンテーションとしてまとめ、第3者の前で発表し、質疑応答を行う。						